

起因物、事故の型：通路 - 墜落・転落の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
1	10～11	団地内の集会所に、お弁当を配達する為に、車からお弁当を運ぶ際、道の段差で足をひねった。	49	140209	—
1	14～15	当社営業所構内において、古紙の選別作業中、新聞紙大の重さ10キロ程のチラシを運んでいた際、足元が見えづらかったためか、地面より50cm位低い位置にあるベルトコンベアーに落下してしまい、右足首を強打し受傷した。	37	80109	—
1	2～3	路線出発後、降し場側ホームの掃除や跳ね上げローラーの片付けをしながらホームの端を歩いていた際、誤ってホームの下へ転落し、背中から肩付近を強打し、負傷した。	45	50101	30～49
1	12～13	工場にて、設備の清掃をステップ上で移動しながら行い、ステップがなくなっているのを気づかず、後方に下がった際に足を踏み外し、足を捻りながら別のステップに足をぶつけ転倒し、左第5中足骨を骨折した。	54	10899	100～299
1	17～18	作業が終了して、両手にチェーンソーと工具箱を持ち、山の斜面を歩いて降りるとき、長靴を履いていて、落ち葉の上で足元が滑り、両手がふさがっていたため、手を突くことが出来ず、斜面を10mほど滑落し、最後に高さ4mの岩の上から舗装道路の上に左肩から転落した。	69	30106	—
1	23～24	客先のネットワーク障害対応終了後、深夜の作業だったため、表玄関は施錠されているため裏口からの退出をお客様から指示され退出した。明かりもなく前後がわからない状態で進んでいたときに段差があったため、体重を移動したところ3m下の河川へ転落し、後頭部を9針縫合し、左肘を骨折した。	43	170209	1～9

1	8~9	測量地点から車へ戻るため、張りコンクリート道路を歩行中、通路欠落部分に足を滑らせて落下し、負傷した。	53	170209	10~29
2	9~10	1階~2階階段の踊り場において清掃していたところ、バランスを崩し1階に転落した。その際、右足首を骨折してしまった。	50	140101	10~29
2	10~11	プラットフォーム西側の監視室上で外壁材受け水きりの骨付作業を行う為外部足場から屋根上へ上がり鉄骨上部に乗り移ろうとした際、足元が滑り3.3m下の1階床上（コンクリートスラブ）へ転落し受傷した。屋根上から鉄骨上部に乗り移る際安全帯のフックを掛けていなかった。	48	30201	1~9
2	9~10	発掘調査現場で遺構保護の養生作業の不織布のロールを敷く作業中に深さ1.2m位の遺構に落ち中の礫に膝を強打した。	65	120109	—
2	10~11	ホテル駐車場にてお客様の車を移動する際、隣の土地との段差にて足を踏み外した。	48	140101	10~29
2	0~1	コンテナアンラッシング作業に従事していた。左舷側の作業が終了し、次の右舷側の段取り作業のため、コンテナ固定器具（鉄製）を右手に持ち、船尾側のハッチカバー上の通路を移動した際、足元が雨で滑り、咄嗟に左手でコンテナを固定しているバーを掴もうとしたが、掴み切れず、下の通路に転落した（約220cm）。着地の瞬間右手を強打した。	29	50202	100~299
2	15~16	保管場所の冷凍庫に商品を取りに行き、冷凍庫から出たところで商品を持ったまま、約70cmしたに転落し、左の太ももと臀部を打ちつけ骨折した。	57	170209	1~9
2	13~14	現場敷地内で昼休憩後作業現場に戻ろうと徒歩で向かっていたところ側溝があるのを見落とし腰位の高さの側溝に落下した。その際足と手をくじいた為現場作業員に伝えたが、その日は特に気にならなかったので仕事後帰宅した。しかし一ヶ月経っても手の方の痛みは治まらず指も曲がり腫れているので病院を受診することにした。	66	170209	10~29
		被災者は1時間の残業の後、通勤車両を置いてある東2駐車場に向かい歩			

2	18~19	行中、水路にかかっている橋上で、小動物が足元を通過した際に驚いた為、水路脇のコンクリートに1.2メートルの高さから落下し負傷した。	36	170101	1~9
2	9~10	改良工事（2工区）の工事において、道路付近の切土面に滞水した雨水排除のため、水中ポンプにて水替え作業を行う準備中、昇降ルートでなく通行禁止にしていた法面（盛土上部）を自己の判断で通行し、足を滑らせて転落した。	55	30106	50~ 99
2	20~21	本社にて勉強会を実施し、終了後、営業車を停めている駐車場へ徒歩で向かう途中、周囲が暗かった為道路脇の側溝に転落した。その際、左足と右肩を負傷した。	59	80109	—
3	19~20	箱洗い場にて、洗浄前レーンに載っていた進みの悪い箱を後ろ側から押すために移動しようとしたが、レーン右横が箱で埋まっており、担当者の動線が確保されていなかったため、レーン間の通路から箱を押そうと移動し、足を踏み外して転倒し、左足甲の骨にひびが入った。	56	10104	100~ 299
3	19~20	配達先民家の敷地内でインターホンが見当たらなかったため、門の外へ探しに出たところ、思いがけず溝道があり、川に落下した。	53	40301	30~ 49
3	16~17	コンテナ船において荷段作業中、本船通路を歩行していた際に、通路の床板が抜けて床板とともに約2メートル下に転落して負傷した。	52	50202	50~ 99
3	16~17	当社出先の事務所スロープ付近にて、業務を終えて帰宅するため、徒歩で病院敷地東口から公道に出る時、病院敷地は公道より約50cm高くなっているためスロープが設置されていたものの、疲れて何も考えずに歩いていたため、スロープを通らず敷地の段差に気付かず公道に落ちて、右足先を強く打ちつけた。痛みは感じなかったため、そのまま駐車場まで歩き、自動車を運転して帰宅した。その後、負傷部の痛みが増し、我慢できなくなり、右足親指骨折と診断された。	51	10109	10~ 29
3	5~6	従業員通用口から入り奥の出入口に向かう通路にて、新聞配達員とすれ違おうとして左側によけた時、通路の溝に左足を取られひねった。	75	150101	1~9
		外部側から内部側への安全通路で、地中梁部を越す部分に立ち馬（可搬			

3	16~17	式作業台)を設置していた。被災作業員は躯体建物のPコン埋め作業を行うため、この立ち馬を渡る際、立ち馬上を歩き、降りようとした時に躓き、そのまま体勢が崩れて地面に飛び降り、左足の踵を骨折した。	77	30201	1~9
3	13~14	工場プラットホームにて、豆腐容器の入った段ボール箱を補充の為、大豆の袋の上に乗り動かしたところ足が滑り、約1mの高さより転落し、右手首他を強打した。	69	10109	10~29
3	15~16	農作業中にU字溝（幅95cm、深さ80cm）を跨いで渡ろうとして、足が滑り、U字溝に肩を強打し、脱臼骨折した。	53	60101	1~9
3	20~21	構内で引越荷物の積入作業を行う為、ターミナルホームへ上がろうとした。ホームまでの高さが150cm程あった為、トラックの荷台から移そうとしたが、上がりきれず滑ってしまい、トラックとホームの間が60~70cm程開いていて、その隙間へ落ち、背中と後頭部を強打した。	58	40301	10~29
4	9~10	訪問中の掃除道具の片付けの最中、バケツと雑巾を持ち、台所から納戸へ扉を開けて段差を降りたところに設置されているすのこの左上部側を歩いていた際、足を踏み外して15cm位下のコンクリートの床に左足外側の骨の部分を打ちつけ、足の小指付け根部分を骨折した。	63	130201	30~49
4	16~17	当社工場内においてホースにて製品をタンクに入れる作業中、誤って踏み台（1.2m）よりコンクリート床に転落し背骨及び腰部を負傷した。	62	10899	1~9
4	13~14	契約による橋梁の添架管の調査・設計業務で、翌日から調査予定の（海側）管理地のフェンス錠を確認中、扉のヒンジピンの不具合を発見し、フェンス扉が倒れる恐れもあったので直そうとした。フェンスの向こう側（内側）から直す為、フェンスをよじ登り、飛び降りた所（高さ1.96m）で左足を負傷した。	49	170209	10~29
4	14~15	廃棄資材を処分するため、段差下にあるゴミ受けコンテナにつながる滑り台に廃棄資材を流したところ上手くコンテナに入らず、外へ落下してしまったので拾おうとして段差から飛び降りたところ、着地に失敗し尻もちをついた体勢を立て直し、立ち上がったところ左足踵部に激痛を感じ、次第に腫れ始め、引き摺らないと歩けなくなった。	58	11203	50~99

4	17～ 18	事業所内にある生け簀にアワビ、サザエをとりに行き、溝口に落ち打ち骨折した。	62	140101	10～ 29
4	14～ 15	ボイラー室裏で筍を採りに行った帰り階段とシンクの間の水苔で滑り転倒し、筍を持っていた左手首の上に身体が覆いかぶさり、左手首を骨折した。	64	140309	10～ 29
5	10～ 11	出向先の工場内で製品の製造の作業をしている時、通路の隙間から落下して負傷したものである。	68	11101	10～ 29
5	2～3	休憩時間の為、自家用車で休憩をとろうと駐車場へ向かう時、通用口から出て左側へ行ってしまい、落差約2mある敷地外道路へ転落し、アスファルトに肘を強打し骨折した。	59	80209	300～ 499
5	18～ 19	鑄鉄一課溶解造型センター溶解場で作業中、湯道破碎機の設備とバツカンの間に湯道が噛み込んだので、稼働を停止後、設備内に入り、噛み込んだ湯道を取り除いた。その後、設備から出る途中で足を踏み外し、約1.3m下のフロアへ転落し、足から着地した際に設備で左肩を強打した。	33	11301	100～ 299
5	11～ 12	給食室内で、ザル等の洗いものを下処理室に運んでいた時、フライヤー前のグレーチングの間に左足を落してねじった。	56	80209	1～9
5	11～ 12	コンクリート擁壁にマーキング（出来形写真用）を書く目的で現場に立ち入ろうと、函渠を通り抜けて下に降りようとした時に誤って滑り落ちて、土留め様に設置してあったコンパネに脊髄を強打した。	64	30108	10～ 29
5	16～ 17	平地の民家が建ち並ぶ住宅街で配達を行っている際に、側溝に設置してあるグレーチングの隙間に気付かず足がはまって落ちて、足首靭帯損傷を負った。	56	110101	300～ 499
6	14～ 15	かに刺し網漁業陸上作業の為、出勤した。同日の午後、洗ったロープを干す為に移動していたところ、足を踏み外して側溝に落ち、左足かかとを負傷した。	69	70201	10～ 29
		当社敷地内で、ゴミ集積所を作る作業をしていたところ、約5cm程の段			

6	14~ 15	差に躓きバランスを崩して、足の足首を強くひねってしまい負傷したものである。	63	30106	50~ 99
6	15~ 16	ガス工事現場で掘削中、民家の駐車場から出る車を誘導しようとした時、誘導に夢中になり、ガス管理設用の穴を掘ってある事に気付かず、そのまま穴の中に両足から変な落ち方をした為、両足を怪我した。特に右足の腫れが酷くなった。	28	170201	30~ 49
6	14~ 15	道路側壁草刈り作業施工の為、交通誘導に従事中、大型ダンプの通路を予見し路肩へよけようと後ろの草むらに一步下がったところ、実際には路肩がなく、崖になっており転落した。木に引っ掛かり、約3m下に投げ出されたが、現場にあった共同植木のコンボがアームを下ろし、それに掴まって引き上げられた。その際、右肩を強打したが、その日は整備を続けた。翌日朝、首が回らず肩の痛みもあった。	70	170201	10~ 29
6	12~ 13	昼休憩中、本社営業所休憩室で昼食後に吐き気がしたため、駐車場奥に行こうとしたところ車止めに躓き、約1m下の線路脇に落ち、腰を強打した。	71	40201	30~ 49
7	10~11	水洗のプレハブ脇で、ベルトエンドレス作業終了後、古いベルトを下に降ろそうとしてコンクリート柵を歩いている途中、バランスを崩し落下、約1.5m下の地面に着地した際に、左足を捻挫した。	36	80209	10~ 29
7	4~5	館内の階段を下りていた際、誤って足をふみはずし左足首を負傷した。	57	80205	10~ 29
7	9~10	一般住宅の雨樋取り替え作業中に軒樋を持っていて樋の端がつかえてバランスを崩して石垣の上から下の道路に足から落ちて左足踵を骨折してしまった。	59	30202	10~ 29
7	15~16	資材置場造成工事で水路のコンクリートを打設する作業中に、生コンクリート打設用のシュートを移動させていた時水路の上部から足を踏み外し水路の底に転落した。	50	30109	1~9
	16~	工場内倉庫（高さ1.2m、幅70cm位）の踊り場で、荷物の出入れのため			30~

7	17	扉を開けようとしてバランスを崩して落下し、左足踵を強打した。	61	40301	49
7	11～ 12	開催中の展示対応を行っていたところ、多量のバインダーを運ぶ際、段差に躓き転倒し負傷した。	36	170209	10000 ～
7	15～ 16	当クラブにおいて、幼児スイミングスクールの終盤、子供達をジャグジーに入れる際に子供が転倒しそうになり、支えようと1歩足を大きく出したときに足が滑り、子供を支えながら湯船に転倒し、左膝を負傷した。	55	140309	30～ 49
7	11～ 12	ケーブルテレビの屋内配線作業中、工事宅と一段高い敷地（高低差1.5m程度）にある隣家との間の隣家側敷地境界にある石垣の上を歩きながら、工事宅の雨樋沿いにケーブル配線を行っていたとき、石垣の上から足を踏み外し、工事宅敷地内の地面へ臀部から転落した。	54	110101	10～ 29
7	11～ 12	車両検査棟で保守用車の作業進捗を確認後、作業台から降りようとして梯子の方向へ歩行中、足元にあったアイボルトを避けようとしてバランスを崩し、梯子に転落した。転落した際、咄嗟に右手で頭上の点検蓋の取っ手に掴まり、左手を前方の蓋枠に置いて体を支えていたため、点検蓋が体重により閉まり、蓋枠に置いた左手中指が挟まれ受傷した。	33	11503	300～ 499
7	9～ 10	住宅地の狭隘道路（市道）において通信引込線の張替え作業を行うため、高所作業車を車道に駐車し、作業を開始しようとした際、後方から来たゴミ収集車が高所作業車の横を通過出来そうになかったため、被災者が高所作業車を移動させようと運転席に向けて車道の側溝の上を歩いていたとき、側溝の蓋（グレーチング）が側溝の中に落ちると同時に足を取られ、側溝に足を落して被災した。側溝の現場打ちのコンクリート製で蓋（グレーチング）がきっちりと噛み合う構造にはなっておらず、中に落ちやすい状態になっていたと推定される。	65	30301	10～ 29
7	0～1	旅館の外で、食器洗い場で出たビニール袋に入った残飯をゴミ置場に運ぼうとしたとき、パントリーの電気をつけずに外へ出たため、旅館の外に流れている川に架けてある橋を渡ろうとした際、足を滑らせ、川に落	60	140101	30～ 49

		ちて骨折した。 当時は、雨が強く降っていた。			
7	15～ 16	休憩から職場に戻る際、隣地との境界を通行中、誤って隣地（2m下）へ落下し、臀部を強打し骨盤骨折（全治2ヶ月）をした。	55	80209	10～ 29
7	11～ 12	第3地区発掘調査において、営繕用地整備のため、斜面地の除草作業を行っていた。 斜面高さ1.5m程のところから木の枝を掴み降りようとしたとき、木の枝が折れて落下し、側溝に右膝を強打して骨折した。	61	30309	30～ 49
7	21～ 22	客宅に誕生日のお花を持って行った帰り道で、暗く狭い道だったため、道を踏み外して右側に転落し（高さ1.8m）、左足首を骨折した。	49	80202	10～ 29
7	14～ 15	ショットブラストの高さ1.1m位の所にある、スチールショット投入口に立って、ブラスト内にエアブローをしていたとき、バランスを崩して右足踵から落ち、尻もちをついて倒れ、右足踵にひびが入った。 その際に腰も打ち、立てなくなったので入院した。	62	11002	10～ 29
9	10～ 11	地内にて、間伐捨切り作業を班員4名で行っていた。 被災者は班から離れ一人で川沿いに向かい伐採対象木（高さ約15m、胸高直径約24cm）を伐倒した。 対象木は川に向かって反対側にかかり木となってしまったため、近くにあった丸太にてかかり木を外したが、対象木先端が、川に向かって倒れた。 足元の安全な所まで玉切りを行い、それ以上切り進むのが難しくなったため、玉切りを中止し、対象木がどのような状態であるのか確認しようと、対象木の反対側に移動中に足を滑らせて約20m下の川へ転落した。	45	60209	1～9
9	8～9	ホームを移動中、足場の狭い場所を歩いていた際、足を踏み外し地面に転落、左足首を負傷したものである。	45	40301	300～ 499
9	9～ 10	客先で打ち合わせに移動する際、ロビーより外に出すときに滑りやすい床の部分で足を滑らせて、左足を骨折した。 当日は雨が降っていた為、靴が滑りやすい状態であったことと、PC等の入ったバックを持っていたので、バランスをくずしやすい状況になっていた。	54	80409	300～ 499
		肘付き椅子を利用し、収納庫の上に上り、壁に設けてある、月、日、曜			

9	9～ 10	日の札をその日の分に取り替え作業で、取り替えを終え、収納庫の上から後向きで降りようと、右足を椅子にかけたが、かけそこねて転落、右背中を椅子の肘で強打し骨折した。	47	170101	100～ 299
9	14～ 15	停電が発生し、給水が止まった管理物件のポンプの作動ボタンを点検し、ポンプ室前で上を見上げたところ、ふらつき後ろに落下し骨折した。	46	170209	10～ 29
9	20～ 21	就業場所スタッフ専用通用口から渡船場へ徒歩で移動中、適用口より出たところに駐車中の軽トラックを回り込んで坂道へ降りようとしたところ、暗い中、足元を踏み外し約60cm下の段差で右膝を強打し受傷した。	52	140101	10～ 29
10	11～ 12	地面から手で届く範囲の柿の収穫中、柿の木近くの地面に掘ってあるため池に足が落ちた。本人も池があることはわかっていたが、柿の収穫に気を取られていた。落ちる際、腰を捻った。	58	60101	10～ 29
10	13～ 14	被災者は、洗車場にて車両の拭き取り作業中、フロントガラスを拭こうとして洗車場後方に移動した際、縁石（高さ約20cm）につまずいて段差（約70cm）から落下、負傷したものの。	36	40202	300～ 499
10	16～ 17	雨漏工事に伴い、天井部分を見上げたまま歩行中、廊下から土間に転落。	38	30209	1～9
10	7～8	鶏舎内バックヤードを歩行中、外されていた点検用溝蓋に気付かず点検用の溝上に落下した。	54	70101	1～9
10	18～ 19	新聞代の集金をしてバイクにまたがろうとした時、暗かったので路肩を踏みはずし、1.5m程下の水路（水田）に落下した。右足首・甲の部分を骨折して、入院治療することとなった。	45	80205	30～ 49
10	9～ 10	施設内のゴミを処分するため、缶・ビンの収集所へ向かっていたところ、途中の段差で足を滑らせ80cm下の地面へ転落し、右肩を脱臼した。	65	120109	10～ 29
10	8～9	資材置き場内において、資材、鉄骨など移動作業中において、落差2m	70	30199	1～9

		下に足を滑らせて、コンクリートに落下したものである。			
10	17～ 18	会社駐車場で、帰宅のため社用車と自家用車の入れ替え作業後、はずみで1m50cm位下の公道に転落した。体の左側を強打したが、とりあえず帰宅。痛みがひかず、骨折が判明し入院する。	53	130201	30～ 49
11	7～8	サービス利用者宅台所にて、調理後に生ゴミを捨てようとして、台所は狭く、シンクと後ろの食器棚は1m位しかなく、左後方のゴミ入れを取ろうとして腰を捻ってしまい痛めた。	30	130101	300～ 499
11	12～ 13	出社の為、駐車場に自家用車を止め歩行中、後方から接近する車の音で自分に近付いてくるように感じ、咄嗟に左側に避けた際、側溝に左足を落とした。	43	30301	50～ 99
11	20～ 21	配送センターにてトラックをホームに接車し、ホームの階段を上り柱とホームの間を通る際、足を滑らせてホームから地面に落下したものである。その際、ホーム地面に右肘を強打し負傷した。右肩も上がらない状態となる。	50	40301	—
11	10～ 11	消防団分団立て替え工事西側フラットパネル下にて、杭養生の単管建地設置の為、幅1m程度、高さ2.7m程度の泥コンクリートの上を移動していた。この時根ガラミの跨ぎにくい所を控えの外側から移動しようとした時に、次に使用する為に仮置きしていた単管を固定している部材と誤認して掴み、姿勢を崩して腰から落下し、腰上背骨に全治28日の圧迫骨折という怪我を負う災害が発生した。	50	30201	10～ 29
11	11～ 12	歩道と車道下の水路既設床板取替で、既設床板を1mピッチでカッター入れをして床板を撤去する作業に従事していた。点検口蓋部分には、アンカー閉めの鉄筋が入っておらず、床板と固定されていなかった為に、被災者が工具を取りに床板上を移動した際に、被災者の重みで支えのない床板が落ちて、被災者が約2m下の水路へと床板上を滑り落ちる途中で、落ちてきた点検口蓋が腹部を強打して救急搬送された。被災者は不安全行動などしておらず、普通に工具を取りに移動した際に起きた事故で、当社作業責任者も落ちた点検口蓋を確認して初めて無筋であ	36	30110	10～ 29

		ることを知った次第である。			
12	12~13	生活介護事業所の玄関にて、利用者に声掛け中に玄関と廊下の段差を踏み外し、右足首に受傷した。	61	130201	10~ 29
12	21~22	勤務終了後、スタッフ駐車場に向かう途中、会員駐車場とスタッフ駐車場にある段差のフロア台を傘で確認してから降りようとしたところ、フロア台を踏み外して落下した。	69	120109	1~9
12	22~23	トラックからホームへ荷物を下ろす際、間が20cmほど空いていたので、誤って左足を踏み外し、下に落ちて負傷した。	41	40301	30~ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html